ラピッド市訪問団派遣【10/1～10/7】

アメリカ・ラピッド市との姉妹都市提携から15周年を記念し、市民訪問団12名がラピッド市を訪問しました。

一行は、ラピッド市長を表敬訪問したり、ラピッド市の方との15周年記念パーティーに参加したりしました。さまざまな行事を通じてラピッド市の方と交流し、更なる友好関係を築いていくことを約束しました。

文・写真：市国際交流協会

消防団車両配備式【10/20・今市】

消防団車両の老朽化に伴い、各地域5つの消防団へ消防ポンプ自動車など9台が配備されました。

現在、都市化への進展や生活様式の多様化により、災害が複雑・大規模化し、消防には高度な技術と迅速な活動が求められています。このような中、装備の充実した車両を配備し、各地域の消防体制を強化します。

文・写真：今市・日光・藤原消防署

消防団協力事業所表示証交付式【10/22】

消防団協力事業所表示制度は、消防団員の確保や消防活動がしやすい環境づくりに協力していただける事業所などに対して、その証として表示証の交付や顕彰を行うものです。

今回は、上半期に申請のあった㈱阿部工務店と三祐建設㈱の2事業所に消防団協力事業所表示証を交付し、更なる協力を依頼しました。

文・写真：消防本部総務課

世界遺産登録10周年記念日光茶会【10/25・日光】

今年で14回目となる日光茶会が、世界遺産日光の社寺を会場に開催されました。今回は、日光和敬会により、東照宮客殿を裏千家、輪王寺紫雲閣を表千家、二荒山神社客殿を大日本茶道学会が担当し、薄茶が振る舞われました。

約900名の来場者は、紅や黄金色に色づいた紅葉を眺めながらの茶席で、日光の秋を堪能しました。

文・写真：日光公民館

農業体験学習を開催【10/28・日光】

「大きいのとれた！」「いっぱいとれたよ！」。この日、山久保の畑では子どもたちの元気な声が響いていました。

農林業後継者協議会では、日光地域の保育園年長児を招待し、農業体験学習としてさつまいも掘りを実施しています。園児たちはそのほかにも、杉板に絵を書いたり、豚汁を食べたりし、大満足の様子でした。

文・写真：日光市農林業後継者協議会

育てよう 一人一人の人権意識【11/3】

宇都宮地方法務局日光支局と日光人権擁護委員協議会は、日光そばまつり会場内で人権啓発活動を行いました。

今年度は「みんなで築こう人権の世紀」と重点目標を定め、人権腹話術や割りばしの配布を行いました。また、イメージキャラクターも登場し、子どもたちに「思いやりの心」の大切さを呼び掛けました。

文・写真：日光人権擁護委員協議会

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事　自治会の催しや、地域のちょっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。

応募方法　記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事…140字程度（題名、日付、場所を別に記載してください）

○写真…紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先　〒321-1292
日光市今市本町1番地
日光市役所　企画部
秘書広報課　広報広聴係
Eメールアドレス
hishokouhou@city.nikko.lg.jp

日光市で活躍している人、サークルを紹介します！

クローズアップ 日・光・人

神山 佳奈子さん　花石町 在住
神山 典杏さん　花石町 在住

「混合型血管奇形」と呼ばれる難病と闘う神山さん親子を紹介します。現在、県内の患者は典杏さんただ1人とみられる混合型血管奇形は、生まれつき血管などの形成がうまくいかず、体の各部に血管の異常発達による腫瘤やこぶができる病気で、患部に激しい痛みや出血を伴います。治療法や薬もなく、国内では病名も確立されていません。

小学1年生の典杏さんは、生後半年ごろには左ほおが腫れ、その後も呼吸困難や左ほおの激痛を発症。今年1月、この病気を専門とする医師を札幌に尋ね、3月に痛みを抑える手術を受けたことで病気が判明しました。

佳奈子さんは札幌で、同じ病気の患者や、「混合型血管奇形の難病指定を求める会」と出会い、会の活動に参加。「私たちのように病気も分からずに苦しむ患者や家族の、病気を知るきっかけや情報交換の場になりたい」との思いから、5月に会の栃木県支部を立ち上げました。

県支部は主に署名・募金活動を行いますが、9月には日光市議会に対し、病気の難病指定を国に求める陳情を提出しました。今後は、県内他市町議会にも提出する予定です。また、神山さん親子に協力しようと、鳥羽美佳さんを代表とする「栃木『混合型血管奇形』の患者と家族を支える会」が8月に結成されるなど、県内でも難病指定を求める動きが始まりました。

署名活動の様子（右から鳥羽さん、神山さん親子）。

一方、病気を感じさせない笑顔の典杏さんですが、夏以降に病状が悪化しており、後遺症のリスクなどを覚悟の上で、11月中に再手術を受けなければなりません。佳奈子さんは、「1日も早く治療法や薬ができてくれることを願っています。そのためにも、1人でも多くの人に病気のことを知って欲しいのです」と訴えます。

典杏さんの笑顔を守るため、ぜひ署名活動や募金活動にご協力ください。

紹介したい人、サークルを募集しています！

クローズアップ日・光・人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課　広報広聴係
☎(21)5135